

平成 26 年度 エコ・ファーストの約束のフォローアップ報告  
(報告会用)

企業名：株式会社 滋賀銀行

報告年月日：2014 年 6 月 18 日

No.	約束の分野	約束内容・主な項目	達成状況	備考 (3 年間)
◆ “お金の流れで地球環境を守る” との気概で、環境対応型金融商品・サービスを積極的に推進します				
1	環境金融	カーボンオフセット定期預金「未来の種」により、定期預金額の 0.1% の排出権を購入し、京都議定書の約束期間である 5 年間、国へ無償譲渡します。	2008 年度から 2012 年度まで、11,950 t の排出権を購入し、国へ無償譲渡しました。	(内訳) 京都クレジット (6,564 t) 国内クレジット (5,368 t) J-VER (18 t)
2	環境教育	紙資源を削減する「エコプラス定期」を、2010 年度から 2012 年度までに 650,000 件推進します。	お預け入れ件数 516,019 件 (3 年間実績)	小学校 10 校に ビオトープづくりの資金を 助成
◆ 「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」を推進します。				
3	低炭素社会	温室効果ガス排出量を 2010 年度から 2012 年度までの 3 年間平均で 25% 削減します。(基準年 2006 年度)	39.05% 削減 (CO <sub>2</sub> 削減率は真水で 18.63%、排出権購入で 20.42%)	CO <sub>2</sub> 排出量は 3,432 t 削減 (基準年比)
◆ 生物多様性の保全を実現する社会づくりを推進します。				
4	自然との共生	当行独自の「生物多様性格付」を活用し、生物多様性保全の普及・啓発に努めます。	生物多様性格付の格付取得先は 3,024 先。事業先比率 17.3% (2012 年 3 月現在)	金融機関初の 取り組み
5	自然との共生	「カーボンニュートラルローン未来よし」の拠出金により、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ・ワタカ」を放流し、琵琶湖の環境と生態系の保全に貢献します。	2007 年度からの累計でニゴロブナ 21 万匹、ワタカ 14 万匹を放流。	